

## ◆修了の言葉

3学期を振り返ると、1年生は、後輩を迎えるにあたり、言葉づかいや行動により落ち着きが増してきました。2年生は、卒業生の伝統を受け継ごうとする気持ちが高まるとともに、進路への自覚と気持ちもより向上してきました。1、2年生とも、心のこもった言動が一層増え、1年間での成長を喜んでいるところです。

さて、臨時休校に続けて、春休みが間近に迫ってきました。自分の立てた計画に基づきながら、規則正しく過ごしてください。ここで、私から2つのお願いごとを伝えます。

1つ目は、学習について、教科書や問題集に積極的に取り組んでください。もちろん、テレビやネットからも多くの情報を得ることはできます。しかし、教科書や様々な問題集には、実社会の智恵として間違いなく役に立ち、必要とされる知識や技能がたくさん詰まっています。それを、面倒くさがったり、すぐに止めてしまったりする姿勢は、困難に出合った時、我慢できずに逃げ出してしまい、何事にもあきらめの早い自分をつくりかねません。分からない問題にもとことん取り組んだり、仲間よりも理解する時間がかかるからと、多くの学習時間をかけて問題に向き合う努力をしたりすることは、社会をたくましく生きる力を伸ばすことにつながって行き、その費やした時間は全くムダではありません。

新型コロナにより、自分なりの学習がより多くできるプラス面を有効に生かし、SNSやメディアとの付き合いに工夫を凝らしながら、学力の向上を目指してください。

私たちは、一生学び続けなくてはいけないのです。

2つ目は、自分の夢や目標に向かっての未来予想図を描けるように、進路についてより深く考えて欲しいということです。3年間の中学校生活で「社会に出るための準備」を進めるとするなら、修了証は、2年生は2年間、1年生は1年間の学校生活で、学年に見合った力を付けていることの証です。しかし、昨年の自分と比べると、まだ伸ばせるところがあるはずです。4月より新1年生を迎え、どんな最高学年や中堅学年になりたいのか。いかなる力を、どのようにして身に付けるのか。また、自分に足りないものは何で、それを学校、家庭、地域においてどう磨いていくのか。加えて、将来どのような道を歩んでいきたいのか。特に2年生は、中学校生活最後の一年を、どのように過ごして行きたいのかなど、じっくりと自分自身を見つめ、成長により近づく方法や心の持ち方を考え、実行に移してみてください。

結びに、二つとない尊い命を大切にするためにも、休み中の交通安全には十分気をつけると共に、4月6日の始業式では、皆さんと笑顔で会えることを楽しみにしています。